



物流・梱包の属人化を 『高ROIでフル自動化』で実現！

▶ 回収期間4年 | 出荷能力大幅向上 | 継続改善プラットフォーム構築

最終工程に潜む属人化と投資判断の停滞を断ち切れ

出荷・搬送・梱包工程における「部分最適の罠」と7大課題マトリクス

① 投資・構想不全

- **投資対効果（ROI）の不透明化**
自動化構想の試算精度が低く
投資判断が不可
- **将来像（To-Be）の欠如**
新工場や将来拡張を見据えた
構想が描けない
- **部分最適化の罠**
工程単位の改善に留まり全体効果が
出ない

② レイアウト・設備不全

- **最適物流レイアウトの不在**
搬送導線や保管エリアの配置設計が
未確立
- **設備要件の整合不全**
現場課題と導入設備のスペックが
噛み合わない
- **運用イメージの未確立**
自動化導入後の現場オペレーションが
描けない

③ 属人化・連携不全

- **手作業・属人化の常態化**
パッキング・移載・梱包作業が人員依存
- **システム連携仕様の不全**
WMS/ERPと設備制御間の
データ連携が未定義
- **可視化要件の整理不足**
工程全体の物流ボトルネックが数値
で見えない

結論：工程全体を俯瞰した『全体最適の構想設計』なしに大規模投資の成功はない

構想から投資判断までを一貫推進する5Step実行フロー

現状把握からROI算出・段階導入計画まで、途切れない一貫伴走プロセス



結論：目的設定から実行計画までを一貫通貫で設計し、投資リスクを排除せよ

投資回収4年・年間効果6,800万円を叩き出す創出成果

フル自動化構想により確実な投資回収と持続的な出荷能力向上を両立

【定量成果 ①】投資回収期間

4年

【定量成果 ②】年間削減・創出効果額

6,800万円 / 年

【定性成果 | 5大変革インパクト】

- ✓ 物流・梱包の強力な省人化推進
パッキング・梱包・搬送作業の人員配置を最小化
- ✓ 梱包品質の安定化 & 搬送ロス削減
自動化により製品傷や誤出荷を防ぎ搬送効率を平準化
- ✓ 出荷能力の向上 & 作業負荷軽減
ピーク時のボトルネックを解消し肉体負荷を劇的低減
- ✓ 設備投資判断の基準明確化
確実な根拠に基づく投資判断により社内承認を加速
- ✓ 将来拡張を見据えた物流基盤の確立
生産量増加や新ライン追加に柔軟に対応できるレイアウト

結論：単なる設備導入に終わらせず、劇的な経営効果と現場省人化を実証せよ

単なる設備導入を超えた「次世代スマート物流DX基盤」の構築

生産現場から出荷・自動倉庫までをリアルタイムデータで繋ぐ持続可能基盤

3. 完全自動出荷 & AI高度化レイヤー

AGV/AMR自律走行搬送 | AI物流ルート最適化 | リアルタイム進捗管理・自動出荷

2. 統合データ & WMS連携レイヤー

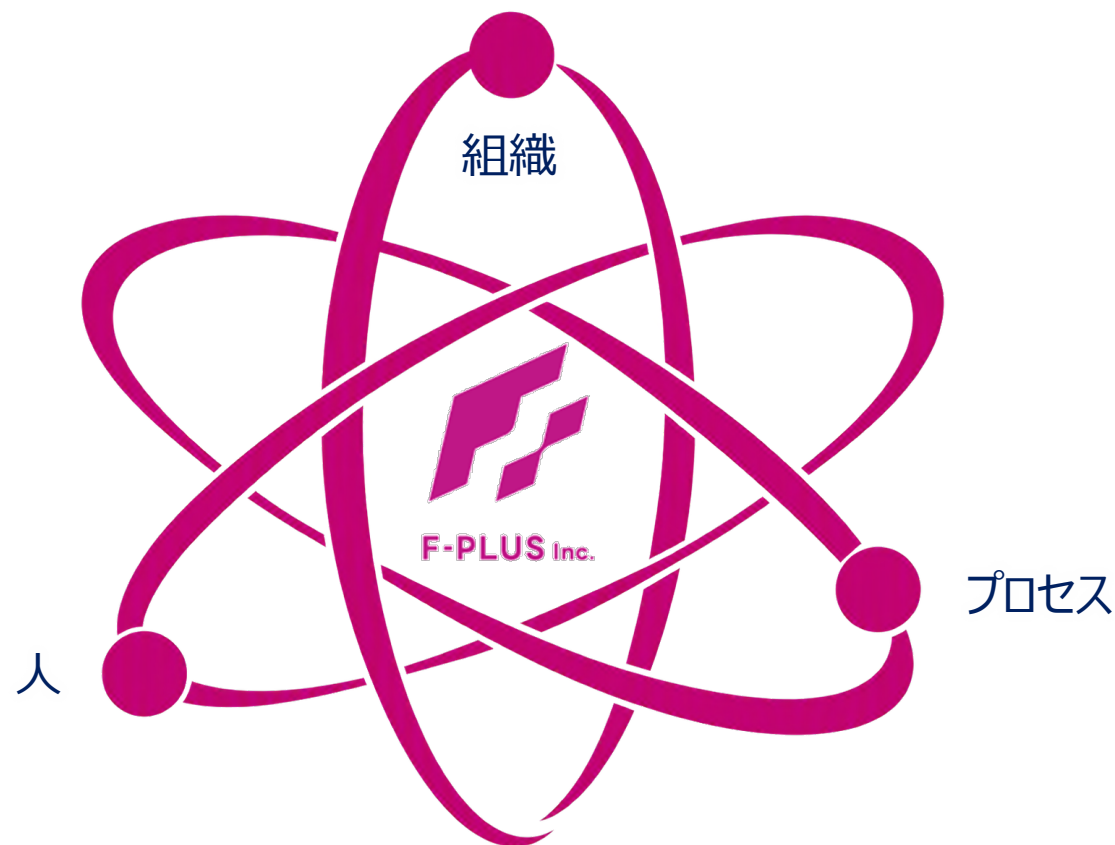
WMS（倉庫管理システム）連携 | ERP/MESデータ統合 | 工程間ボトルネックリアルタイム可視化

1. 現場自動化 & 物理基盤レイヤー

搬送・パッキング・梱包フル自動化 | 拡張性高レイアウト | 安全・平準化オペレーション

結論：工場全体最適化と連動したスマート物流基盤で、将来の事業拡大に備えよ

「あるべき姿」を、現場の実現に！



戦略を美しいレポートに描くだけで終わらせない！

F-Plus は、お客様の現場に入り込み、「泥臭い課題の抽出」・「プロセスの再構築」・「人材の育成」そして圧倒的な費用対効果と、成果創出の最後まで共に走り抜ける真のパートナーです！

詳しいお話や、悩み事はホームページの「お問い合わせ」または、以下へお問い合わせください

info@f-p.tokyo

End of File



Enjoy your Monozukuri !